



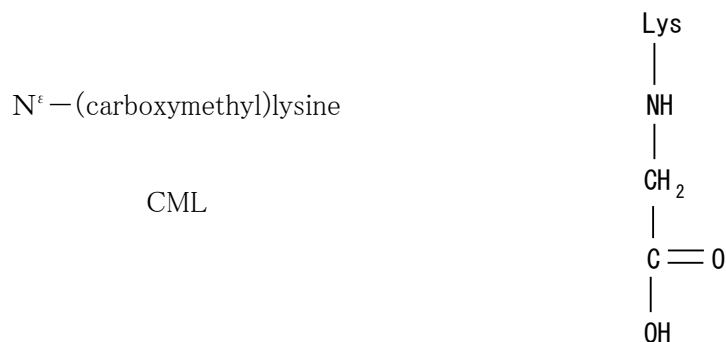
## Advanced Glycation End Products (AGEs) 抗 CML モノクローナル抗体 (Clone No. NF-1G)

AGEs (Advanced Glycation End Products) は、タンパク質の非酵素的糖付加反応(メイラード反応)により、シッフ塩基、アマドリ転移生成物(前期生成物)を経由し、脱水、酸化、縮合などの複雑な反応を受けて形成される最終生成物です。AGEs は、蛍光・褐色・分子架橋形成などの特徴の他、AGEs 受容体により認識されるという生化学的特性を有しています。近年の抗 AGEs 抗体による解析の結果、(1)ヒト水晶体(加齢に伴う増加)、(2)糖尿病性腎症や慢性腎不全の患者の腎近位尿細管、(3)糖尿病患者の網膜、(4)糖尿病性神経障害患者の末梢神経、(5)粥状動脈硬化病変部、(6)透析性アミロイドーシスの  $\beta$  2-マイクログロブリン、(7)アルツハイマー病患者の老人斑、(8)CAPD 患者の腹膜、(9)弾力線維症の皮膚のエラスチン、(10)セロイドリポフスチンなどに AGEs が蓄積することが分かってきました。これらの知見は、老化自体や老化に伴う慢性疾患に AGEs が深く関与していることを示唆しています。

CML は生体における主要な抗原性 AGEs 構造体であることが報告されており、メイラード反応の中間体であるアマドリ転位物の酸化によって生成します。さらに、CML はグルコースの自動酸化及び不飽和脂肪酸の酸化から、グリオキサールを介して生成する経路も報告されております。

本抗体は CML に特異的なモノクローナル抗体であり、病理組織における CML の局在解析に有用です。

容量	50 $\mu$ g (200 $\mu$ L/vial)
形状	マウスモノクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	-20 $^{\circ}$ C以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4 $^{\circ}$ C で保存し、お早めにご使用下さい。 凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
クローン番号	NF-1G
サブクラス	IgG2a
製造方法	CML-HSA で免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞とマウスミエローマ P3U1 を融合して得たハイブリドーマを BALB/c マウス腹腔内で増殖させ、腹水を採取。 採取した腹水より Protein G アフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	組織染色: 5~10 $\mu$ g/mL ELISA: 約 0.1~1.0 $\mu$ g/mL





Advanced Glycation End Products (AGEs)  
**抗 CML モノクローナル抗体 (Clone No. NF-1G)**

【参考文献】

1. Dunn JA, Patrick JS, Thorpe SR, Baynes JW (1989): Oxidation of glycated proteins: Age-dependent accumulation of N<sup>ε</sup>-(carboxymethyl) lysine in lens proteins. *Biochemistry* 28: 9464-9468.
2. Fu MX, Requena JR, Jenkins AJ, Lions TJ, Baynes JW, Thorpe SR(1996): The advanced glycation end product, N<sup>ε</sup>-(carboxymethyl) lysine, is a product of both lipid peroxidation and glycoxidation reactions. *J.Biol.Chem.*271: 9982-9986

\* 参考文献は CML の概要であり、本抗体使用例ではありません。

製造販売元

 医化学創薬株式会社

神戸研究所

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-945-7075 FAX: 078-306-0694

URL:<https://soyaku.co.jp> tech-kobe@soyaku.co.jp

旧製造販売元

 株式会社トランスジェニック